

令和6年12月9日

五戸町議会第8回定例会 一般質問通告一覧表

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1	一 問 一 答	尾 形 裕 之	1. 五戸のちからを五戸のちから日本へ未来へ情報発信することについて	三浦栄一先生の「流れる五戸川」によると、歌人と謝野晶子・鉄幹夫妻が来町したのが大正14年9月とのこと。来年で100年目になる。そこで町では何か記念イベントを考えているか。私なら五戸今昔写真のように与謝野夫妻と五戸住民の集合写真を再現するイベントを考えるが、いかがか。
			2. 追跡質問（過去の一般質問のその後について）	(1) 五戸町が大災害になったとき周辺地域からの応援も困難であることを想定した、他県や東北地方以外との災害応援協定の件はどのようなになっているか。 (2) 十和田地区に通学する高校生応援補助金の件はどのようなになっているか。 (3) 議員に関する寄附（特に募金）について広報等に載せ告知する件はどのようなになっているか。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2	一 問 一 答	鈴木 隆 也	五戸総合病院の経営について	五戸総合病院の経営について、主に医師不足に起因する諸事情により、多額の基準内繰入金はもとより、基準外繰入金を充てなければならない、大変厳しい状況である。 多額の繰入金は財政をひっ迫させ、町民の皆様が必要とされる行政サービスが滞り、五戸町の活力を減衰させる要因になっているといっても過言ではない。 五戸総合病院の経営改善は急務であると考え、次の5点を伺う。 (1) 医師不足解消のための取組は。また、その成果は。同じく来年度の取組方針は。 (2) コメディカルと呼ばれる診療を支援する部門のスタッフ不足解消のための取組は。また、その成果は。同じく来年度の取組方針は。 (3) ここ数年において、当該病院で勤務したいと問合せがあった医師が複数人いたとのこと。ただ、給与の面で折り合わず、採用まで至らなかったと聞く。 医師がいなければ経営が立ち行かない以上、現在勤務される医師も含め、抜本的な給与体系の改定が必要であると考えがいかがか。 (4) 数多くある医療施設の中から、当該病院を勤務地として医師の皆様から選んでいただくには、快適な環境や魅力あるサービスなど、いわゆるアメニティの充実が必要不可欠であると考え。医師住宅を始め医師に対するアメニティの充実はどのように図られているか。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
				(5) 当該病院は医療法上「病院」と定義される医療機関である。ただ、この規模を維持していくためには相応の財政力が必要なことは明らかだ。 いまさら言うまでもなく、五戸町においても人口減少が進み、歳入の自主財源割合は3割を切っている。今後も財政状況の大きな改善は望めないどころか、悪化していく可能性が大きいと考える。 医師不足を嘆き、繰入金を充当し続けるのか、医療法上の「病院」という医療機関であることに固執しない選択をするのか、大きな時代の転換点であると考えているがいかがか。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3	一 問 一 答	豊 田 孝 夫	1. 災害備蓄倉庫の管理状況について	先般総務常任委員会の所管事務調査を実施した。その折に旧消防署と旧蛭川小学校の災害備蓄倉庫2か所を調査させていただいた。 については災害時において機動的に対応できるようにするために次の項目についてお答え願いたい。 (1) どちらの備蓄倉庫にも電源がなく、夜間における倉庫からの搬出に支障が出るのではないかとと思われるが、その際はどのように対処するつもりか。 (2) 食料・飲料、避難所設備品など分類別に保管されているが、いざ搬出する場合に2か所を回らなければならない場合が生ずるので、1か所で済むように一元管理できるようにすれば良いと思うがいかがか。 (3) どちらの備蓄倉庫も備蓄品が床に直置きですぐに種別の確認ができないので、わかりやすくするために棚区分にしてはいかがか。 (4) 旧蛭川小の備蓄倉庫においては行政文書も同じ部屋に保管されていたが、備蓄品と紛らわしいので別保管してはいかがか。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			2. 学校給食での地産地消の現状について	先般総務常任委員会の所管事務調査を実施した。その際、学校給食について地産地消の現状の説明もいただき、町内産で賄える食材も多いとのことだった。 については次の項目についてお答え願いたい。 (1) 米の購入に関しては学校給食会と年間契約とのことだが、購入数量と購入金額は総額いくらになっているか。また、町内の米穀業者、精米所からの購入も考えられるがいかがか。 (2) 野菜の購入は、主に産直施設の「ふれあい市ごのへ」からとのことだが、今計画中の上市川産直施設からの購入も考えられるか。 (3) 給食において果物の摂取も必要と考えるが種別、数量はどのようにしているか。 (4) 児童・生徒が給食をとる際、その量はどのようにしているか。また、食べ残しの飲食物はどのように処理しているか。 (5) 食物アレルギーのある児童・生徒にはどのような配慮をしているか。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
4	一 問 一 答	川 崎 七 洋	1.「五戸まつり条例」 の効果と今後の展 望について	令和6年3月議会で可決され、4月1日から施行された「五戸まつり条例」。条例制定後の最初の五戸まつりが終了した。 本条例により五戸まつりの姿は従来のお祭りから大きく変化した。まさに時代を一変させた大きな転機が今年の五戸まつりだったのではないかと考えるが、同時に様々なゆがみを生み出した側面もあるようだ。 この点について以下のとおりお伺いする。 (1) 五戸まつり条例により、町内の小中学生及びその保護者の行動はどのように変化したか。お祭り各日の動員数の変化や関わり方の変化、お祭り準備期間の過ごし方の変化など、町として現段階で捉えていることを広くお答えいただきたい。 (2) 五戸まつり条例により、町内の高校生や大学生の行動はどのように変化したか。前項と同様、町として捉えていることを広くお答えいただきたい。 (3) 五戸まつり条例により、町内の各事業者の行動はどのように変化したか。前項と同様、町として捉えていることを広くお答えいただきたい。 (4) これら様々な変化について、最も影響を受けたのは山車組を有する各自治会、そして各学校の先生方であったと考える。 五戸まつり条例によりそれぞれにどのようなメリットが生まれ、またどのようなトラブルが発生し、どのように解決、又は回避したか。お答えいただきたい。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			2. 五戸町の合計特殊出生率の現状と今後について	先日、町内中学校の出前授業を実施した際、生徒から「五戸町の合計特殊出生率の目標を2.07と定めているがその根拠は。実現のための施策は何か。」と問われた。中学生の立場からも合計特殊出生率は重大な指標であると感じてもらえていることに喜びを覚える反面、大変難しい社会問題であることから子どもたちに対し申し訳なさを感じた。 あらためて以下のとおり質問する。 (1) 第二期五戸町人口ビジョン まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施中であるが、基本目標3（ひと：少子化対策）に掲げた目標の達成状況及び今後の見通しはいかがか。 (2) この状況において、これまでどんな施策を展開し、今後どのような施策を行っていく考えか。 (3) 「五戸町の子育て支援に関するアンケート」を毎年実施し、その結果を公表しているが、満足度や不満を持つ割合などの推移はどのようになっているか。また、要望などもたくさんいただいているようだが、これらに対しては今後どのように対処していくおつもりか。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			3. 高校生までの子どもの医療費無償化の所得制限について	五戸町では現在、子育て支援として高校生まで医療費無償化の政策を行っている。しかしながら、実際にお子さんを持つ御家庭から話を聞くと「うちは所得制限で対象外。自分で払っている。」という御家庭が散見される。 そこで以下のとおり質問する。 (1) 子どもの医療費無償化に係る制度について、あらためて御説明いただきたい。 (2) 高校生まで医療費が無償化されているにも関わらず、それを知らない御家庭は子どもの医療費を自分たちで支払っている状況にある。このように自己負担となってしまう医療費はどのくらいあるか、五戸総合病院で確認できる分だけでよいのでお答えいただきたい。 (3) この制度の周知のためにどのような方法をとっているのか。また今後より周知を図るためにどのようにしていく予定か。